

7. 障がい者スポーツの充実について

- (1) 本市における障がい者スポーツの普及とその取り組みについて
- (2) 障がい者と健常者がともに楽しめるスポーツの普及啓発について
- (3) 施設の充実を目指し、ボッチャなどの競技用機材の配備を求めて

【答弁】

それでは、7、障がい者スポーツの充実についての（1）から（3）のご質問につきまして、順次お答えいたします。

まず、（1）につきましては、障がい者スポーツについて、従前から、様々なスポーツイベントの場を捉えて、普及及び啓発に取り組んでまいりましたが、富田林市レクリエーション協会と共催で開催しております「富田林スポーツレクリエーション祭」におきまして、昨年度は、障がい者スポーツの体験コーナーを作り、「ボッチャ」、「車いすバスケットボール」を紹介することで、障がい者スポーツへの理解を深め、普及啓発に取り組んだところであります。

今年度においても、障がい者スポーツの体験会を企画しておりましたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染防止の為に中止となりました。

今後におきましても、障がい者スポーツの普及促進に取り組んで参ります。

続きまして、（2）につきまして、お答えします。

富田林市身体障害者福祉協会、と連携協力して月 1 回、身体障がい者スポーツフィットネスを開催し、身体障がい者の運動不足の解消、健康の維持、機能の回復並びにスポーツへの親しみを目的として富田林小学校でグラウンドゴルフを実施しているところです。

広く市民のスポーツを普及・振興するとともに、健康増進と市民の親睦交流に寄与することを目的に毎年12月に開催される富田林市民マラソン大会におきまして、ふれあいの部として障がい者の方が参加できる部を設け、3km・5km・10kmの各コースに設けています。

次に南河内地区の6市2町1村で広く住民の間にスポーツを振興して、その普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、あわせて青少年の健全な育成に寄与することを目的に、南大阪駅伝競走大会を開催しています。特に障がい者の特別枠は設けていませんが、障がいをお持ちの支援学校生と健常者の方が、ともに競技に参加されています。

また、「いつでも・どこでも・だれでも」を合言葉にウォークキングイベントを開催しており3kmのコースでは、毎年下見を重ね、車椅子で参加しやすいコースとなるよう設定しています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染防止の為、実施できない場合もございますが、今後におきましても、様々な機会を捉えて、障がい者、健常者が共にスポーツを楽しめる場面の提供を推進して参ります。

続きまして、(3)につきまして、お答えします。

例えば、ボッチャ及びブラインドサッカーなどの障がい者スポーツを行うにあたっては、ボッチャボールや、転がると音の出るサッカーボールなどの競技用機材が必要となります。

それらの共同で使用する競技用機材を市のスポーツ施設に配備し、PRすることで、障がい者スポーツの普及啓発がより一層促進される効果を期待して、配備について、検討してまいります。

以上でお答えとさせていただきます。